

2021年8月10日

会員病院 各位
地区病院協会会長 各位

公益社団法人神奈川県病院協会
会長 吉田勝明

コロナ感染拡大に伴う緊急対応について

昨日、県内の新規陽性患者数は2,166人、重症患者の病床利用率が約75%を超えています。（感染拡大の詳細については、次ページ等の県ホームページ参照）

神奈川モデルで強化準備を図ってきた数をはるかに凌駕する患者発生となり、なおもコロナの感染拡大は収まる気配がありません。

これまで、一般医療とコロナ医療を可能な限り峻別し役割分担することで成り立っていた「神奈川モデル」の限界を超え、県内の病院医療は危機に直面しています。

当協会は、「神奈川モデル」という防波堤を強化充実・維持することが、中小病院も含めて、多くの病院医療の継続と県民医療を守ることに貢献すると考えて取り組んできましたが、現在の感染拡大状況は、この「神奈川モデル」という防波堤を超える勢いです。

県は8月6日付で、神奈川モデル認定医療機関に対して、医師が延期できると判断した入院や手術について一時停止を要請しているところですが、モデル認定医療機関のみならず、全会員病院及び地区病院協会の先生方におかれましては、否応なく緊急対応を迫られる可能性があることをご認識いただき、次のことを念頭に、陽性患者が来ることを前提に、各病院の状況に合わせて「最善の選択」を検討くださるようお願いいたします。

また、地区病院協会におかれましては、各地区での状況について情報交換・共有を密にいただき、それぞれの病院が必要な連携に取り組んでいただくようお願いいたします。

- 1 多くの陽性患者が自宅療養を余儀なくされる状況にある中で、従前は陽性患者を受け入れてこなかった病院でも、自院で陽性が判明した患者について、他病院への転院は、軽症は不可能な状況で、重症であっても困難な状況にあること
- 2 救急搬送や転院が、コロナ患者に限らず、困難になっており、特に救急病院については、陽性を受け入れてこなかった病院も含めて、陽性患者への対応をせざるをえない状況にあること
- 3 重症者のベッドがひっ迫してきており、回復途上の患者を受け入れる「陽性下り搬送」を検討せざるを得ない状況にあること

県内の最新感染動向(神奈川県ホームページから抜粋)

最新の状況は、県ホームページ等でご確認ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1369/>

陽性患者数 日別累計 **2,166** 人

21/08/09 の速報値(前日比:+306 人)

入院者・療養者の状況と死亡者数

- 各項目の把握・集計時期が異なる場合があり、確認次第数値を更新している
- 「無症状・軽症の入院」は高齢者・基礎疾患のある人・妊婦などを含む

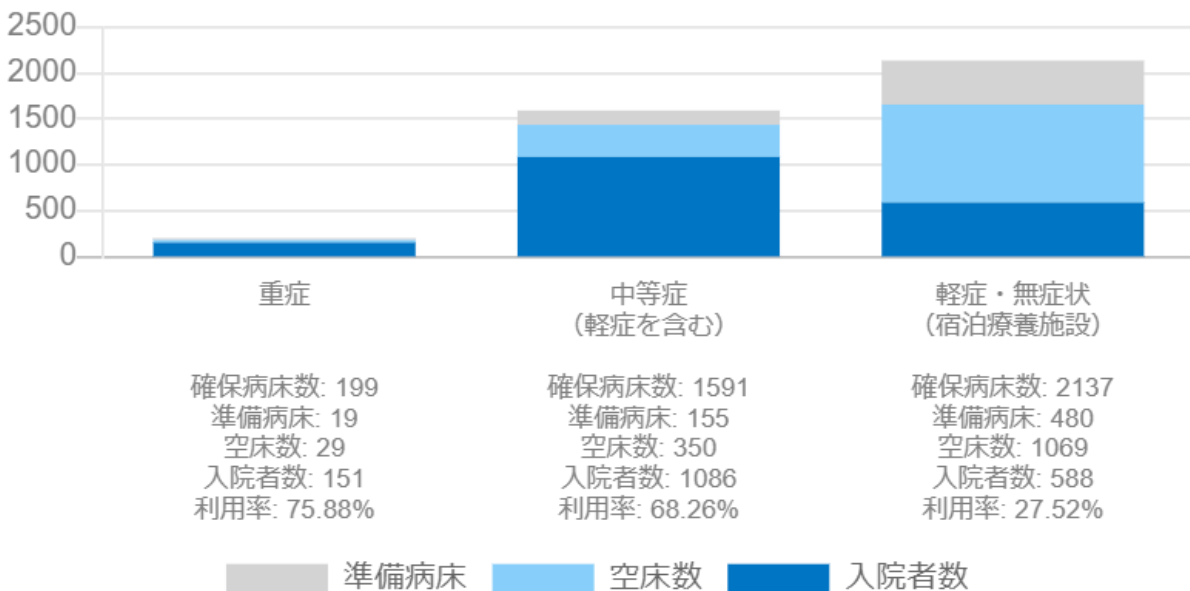
単位:人

入院 **1237** 重症 **151** 中等症 **976** 無症状・軽症 **110**

療養 **12538** 宿泊施設 **588** 自宅 **11950** 死亡 **1009**

2021/08/10 08:37 更新

病床利用率



- 入院者数+空床数=現段階における即応病床数
- 準備病床は、最終的な確保病床数から現段階における即応病床数を引いた数(4月15日から、重症と中等症を合わせた最終的な確保病床数を1,555床から1,790床に変更しました。)
- 患者数に応じ、即応病床数は増減する

2021/08/10 08:37 更新